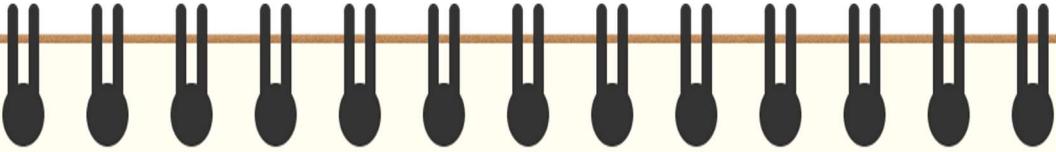


1月園だより



令和7.12.24 No.1
かきの木幼稚園
園長 川井直子

えんちょうのふではこ



「山々のメッセージから」

十月中旬、所用で某大学に訪問に出向く。そこは、東武東上線の寄居方面に向かう道筋の小高い山の上にあり、辺りは雜木中心の山林である。用事を済ませた後、そこの事務所員と応接コーナーで雑談をしたところ、驚いたことに、周辺の山々には鹿と猪が棲んでいると言う。さらに驚くのは1つ反対側の谷の向こうの山には熊がいると言う。

私が幼い頃、明治生まれの祖母（朝霞市出身）が嫁ぐ前、家の近くには鹿がいたと言う話を「嘘だろう！！」と思つたことを思い出す。小規模な町や村で畠作をしていた頃は、「動物」と「人間」の関係には信頼とか秩序とか、共生と言つた様な素朴で原初的な関係があつたのだろう。お互いの境界線を荒らさなければの話であるが、これからもそうありたいものだ。

ところで、「人間」には、社会性、想像力、温かさ、優しさ、向上心、協調性等、さまざまな性質や性向が備わっている。それらをもつて共同体とも言える集団を築いて来たように、子ども達や保護者の皆様方、私達教職員一同は共に子ども達の未来を築いて行けるような関係性を持つて、歩んでいく幼稚園を目指して努力をして参りたいと思います。そして、これ以上過度な経済活動や、国際情勢の変化がありませんよう子ども達や全ての生き物のためにも。

令和七年十二月二十四日

かきの木学園

園長 川井 直子

良いお年をお過ごしください。
令和八年もよろしくお願ひします。